

潮声屋交流センター事業の実施状況

NO.	公募時				年次計画内容	実施結果	実施回数
	提案内容	提案内容詳細	実施時期	実施回数			
<b>【本事業】</b>							
1	多文化共生のための講演会	諸外国の実情の理解を深める内容や世界平和に役立つ内容など市民が大きな関心を寄せるテーマに関するセミナーを各国大使、総領事館により開催。	年1回以上		多文化共生の為に講演会	コロナにより中止	0回
2	ボランティア日本語講師養成講座	芦屋市に在住する外国人の大人に対して日本での生活がスムーズに送れるように、日常会話の習得を目的とした日本語教育を実施するため、本講座にて講師を養成。	年1回実施		ボランティア日本語講師養成講座	コロナにより次年度へ延期	0回
3	ボランティア日本語ブラッシュアップ講座	上記講師の能力向上や教育方法のブラッシュアップと同時に、教育上の最新情報入手のため、兵庫県国際交流協会の講師による研修会を実施。	年1回実施		ボランティア日本語ブラッシュアップ講座	2/19 3/19	2回
4	-	-	-	-	やさしい日本語講座	11/13	1回
5	-	-	-	-	情報紙(やさしい日本語・英語)の作成・発行	2か月に1回実施	6回
6	-	-	-	-	防災関連記事HPアップ(やさしい日本語)	随時	
7	市内在住外国人への日本語教室(大人対象)	芦屋市に在住する外国人の大人に対して日本での生活がスムーズに送れるように、日常会話の習得を目的とした日本語教育を実施。指導員は日本語教師養成講座420時間コースやNPO法人芦屋市国際交流協会の「ボランティア養成講座」などを修了した先生方で、学習者たちにマンツーマンで指導。	週4日全5クラス		市内在住外国人への日本語教室。 今年度はコロナにより実施回数減	週4日全5クラス	162回
8	市内在住外国人への日本語教室(子ども対象)	芦屋市に在住する外国人の小学生に対して、日常生活や学校生活がスムーズに送れるように「こどものための日本語教室」を実施。	週1日全1クラス		市内及び近隣に在住する外国人の小学生対象。 「こどものための日本語教室」 今年度はコロナにより実施回数減	週1日全1クラス	23回
9	市内在住外国人へ日本文化を紹介する事業	華道教室	月1回1クラス		華道教室 今年度はコロナにより実施回数減	月1回1クラス	9回
10		書道教室	月1回1クラス		書道教室 今年度はコロナにより実施回数減	月1回1クラス	6回
11		茶道教室	月1回1クラス		茶道教室 今年度はコロナにより実施回数減	月1回1クラス	3回
12	多文化共生に関する情報提供	兵庫県国際交流協会の指導の下、災害時の外国人支援の防災セミナーを開催。	随時		市内在住外国人に対する相談センターの窓口で対応する。英語・やさしい日本語は随時、中国語・韓国語は土日曜、スペイン語は事前に予約にて対応。センター場外での日常生活における通訳の要請があればボランティアを派遣。	随時	
13	市内在住外国人への防災に関する情報提供	兵庫県国際交流協会の多文化共生に関する各種情報を、センター掲示板やホームページ上に掲示・掲載し、外国人支援委員会に周知、市内外国人との多文化共生を図る。兵庫県教育委員会子ども多文化共生センターとの連携を図り、情報共有および関係先への情報発信。	年1回		市内在住外国人への防災に関する情報提供など。 「外国人向け体験型災害時対応セミナー」を開催	2/27	1回
14	国際交流関係団体のマネジメント、活動等の支援に関すること	国際交流関係団体としては、阪神間国際交流協会(阪神・丹波ブロック会連)、ひょうご国際交流団体連絡協議会、大学関連では神戸大学 海事科学部、関西学院大学 国際連携機構、神戸学院大学 現代社会学部の各団体、各都道府県、協力を得て多文化共生推進のための活動をサポート、促進する。加えて、大学等からの要求に合わせ、インターンシップの受け入れを積極的に行うとともに、ひょうご国際交流団体連絡協議会に受賞した「草の根国際功労賞」に関係する若年層メンバーを中心として、若年層の国際感覚のブラッシュアップを促進していく。	随時		市内日本語教室運営団体と連携し、質の高い日本語講師の養成をサポートする目的で、今年度は市内日本語ボランティア講師レベルアップ講習「Zoomでレッスン2回シリーズ」3月11日 1回目「Zoomデビュー」3月13日 2回目「オンラインレッスンの教材と教え方のポイント」	3/11 3/13	2回
15	姉妹都市交流事業	・芦屋市と姉妹都市であるアメリカ モンテペロ市との姉妹都市交流事業は、1961年以来、継続されている重要な事業と考えられている。当協会の国際事業委員会が中心となり、国内事業委員会や外国人支援委員会との協力、また、理事・OB・OG・事務局長が総かりで取り組む。 ・毎年、市民である学生2名を学生親善使節として選出し、モンテペロ市へ派遣する。また、モンテペロ市からも学生2名を学生親善使節として芦屋市が受け入れ、ホームステイを通じて市民との交流を図る。 ・学校間交流の一環として芦屋市およびモンテペロ市学生親善使節が市庁舎、議事、警察、消防署などの公式訪問を行うと共に、市内の小・中・高各等学校を訪問し、文化交流を行う。 ・平成25年度からは、学生親善使節の滞在中の活動をサポートする同世代のホストアンバサダー制度などの新システムの導入を試みており、より多くの若者を取り込んだ事業展開を進めていく。	1月～9月	年1回	今年度は新型コロナウイルスの影響で学生親善使節交換事業は行わず、代わりに姉妹都市のモンテペロ市とオンライン交流を開催した。	7/12	1回
<b>【自主事業】</b>							
16	英会話教室	大人のための楽しい英会話教室と、外国人講師による英会話教室の合計8教室を定期的に開講。各クラスはレベルに応じて柔軟なカリキュラムを用意。語学教室という「枠」にとらわれずに文化背景を学び、発音、文法、作文、読解、会話はもとより国際交流、異文化理解に役立てている語学教室。	週4日全5クラス		大人のための楽しい英会話教室と、外国人講師による英会話教室の合計8教室を定期的に開講。各クラスはレベルに応じて柔軟なカリキュラムを用意。語学教室という「枠」にとらわれずに文化背景を学び、発音、文法、作文、読解、会話はもとより国際交流、異文化理解に役立てている語学教室。 今年度はコロナにより実施回数減	週4日全5クラス	182回
17	英語教室		週3日全3クラス			週2日全2クラス	56回
18	文化祭(文化体験)	日本語教室に在籍する外国人およびその家族と日本人との交流を深めるとともに、日本の伝統文化や施設に触れ、理解してもらうためのイベント。「七夕まつり」「籠まつり」「端午の節句」「日本語スピーチ」など。	春又は秋	1回	日本語教室に在籍する外国人およびその家族と日本人との交流を深めるとともに、日本の伝統文化や施設に触れ、理解してもらうためのイベント。「七夕まつり」「籠まつり」「端午の節句」「日本語スピーチ」など。	コロナにより中止	0回
19	施設見学	国際交流のための日帰り施設見学(体験学習などを含む)を企画、実施(開催と内容については、ユネスコ基金の補助金の認可状況により判断)。	年1回		国際交流のための日帰り施設見学(体験学習などを含む)を企画、実施。今年度は「人と未来防災センター」体験研修を予定していたが中止となった。	コロナにより中止	0回
20	潮声屋セミナー	市民により広い視野を持ってもらえるよう国際時事、人生談義、趣味の世界、最新技術などのセミナーを開催。講師は、外国人、実業家、学識経験者など。	年6回程度		田村克己氏(国立民族博物館元副館長)による「ミャンマーの『今』を考える」セミナー 今年度はコロナにより実施回数減	10/24	1回
21	潮声屋コンサート	市民に気軽に音楽を楽しんでもらえるよう、クラシック、ハワイアン、ジャズ、ポピュラー、ロック、楽器演奏など、幅広いジャンルのコンサートを開催。	年3回程度		石井理子氏と角久美子氏による「ハーブとピアノコンサート」 今年度はコロナにより実施回数減	3/28	1回
22	世界の料理教室	「作って食べよう世界の料理」をキャッチフレーズに、世界の国々の代表的な料理に加え、異国の文化や習慣などをその国の主婦・留学生から紹介していただく教室。現在まで、北米、南米、アジア、ヨーロッパ、アフリカなど約40カ国を超える国々の料理を紹介。最近ではフランス菓子やイタリア料理などのプロのシェフからの指導する教室も開催。	年10回		「エジプト・カリール・フセイン氏元アラブ首長国連邦大使館付きマスターシェフ、リー・ガロイナルホテル大阪 シェフ」、「タイ・村木タツサニー氏タツサニー・タイカルチャーセンター 主宰」2回、「フランス・濱田 孝一氏」2回、「日本: 日下部 管子氏」2回、「イラン・サリム サバ氏」、「コスタリカ: ルガルリータ モラレス フローレス氏」2回の6か国、計10回開催	9/7, 10/5, 10/19, 11/9, 11/20, 12/14, 12/21, 2/8, 3/15, 3/27	10回
23	ワールドフェスタ	コンサートと世界の料理をコラボレーションさせて市民に提供するイベント。	年1回		コンサートと世界の料理をコラボレーションさせて市民に提供するイベント。	コロナにより中止	0回
24	ボランティアによる情報紙の作成・発行	「広報あしや」の記事の中から外国人にも周知するべき記事を抜粋し、数名のボランティアにより、やさしい日本語と英語版を発行し、アミイカード(市内外国人登録カード)登録外国人へ郵送している(年6回以上)。英文は外国人ボランティアによる確認を受け、印刷・発送作業もボランティアによって行う。	年6回以上		「広報あしや」の記事の中から外国人にも周知するべき記事を抜粋し、「コスモネット」と題して数名のボランティアにより、英語版を発行し、市内外国人登録カードに登録している外国人へ郵送している。英文は外国人ボランティアによる確認を受け、印刷・発送作業もボランティアによって行う。	毎月	12回